

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7637）→事業実施：文化政策課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 全国万葉フェスティバル in 鳥取 開催支援事業	(3,000)	(0)	(3,000)				(3,000)	
トータルコスト	4,657千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.2人							
主な業務内容	補助金業務、事業実施に関する支援など							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>大伴家持が、因幡の国庁（鳥取市国府町）で万葉集最後の歌を詠んでから1250年を迎えるのを記念し、全国から万葉文化を愛し、親しむ人に参加をいただき、全国万葉フェスティバルを開催する。奈良県で平成22年に開催される平城遷都1300年記念事業等との連携を図り、相互PR等の取組を行う。</p>								
2 平成21年度事業費								
(1) 事業費 3,000千円（実行委員会補助金）								
(2) 事業の概要								
ア 実施主体 大伴家持顕彰実行委員会								
イ 補助事業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成21年10月17日（土）～18日（日） ・開催場所 鳥取市国府町中央公民館大ホールなど ・内容 <ul style="list-style-type: none"> (1日目) <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー（行道） 万葉衣装によるパレード ・記念講演 「万葉集終焉から1250年」（仮題） 講師 奈良大学文学部教授 上野誠氏 ・シンポジウム「大伴家持が今、問いかけるもの」（仮題） ・万葉うたがかり記念コンサート ・万葉故地交流会 (2日目) <ul style="list-style-type: none"> ・万葉集朗唱の会 ・伎楽・雅楽公演（天理大学雅楽部、著名人による歌の読み上げ） ・曲水の宴 ・万葉故地めぐり 万葉と神話のふるさと因幡の旅 ・万葉食の提供 ・万葉短歌セミナー (その他) <ul style="list-style-type: none"> ・因幡万葉歴史館での特別展示 								
ウ 全体事業費								
7,400千円								
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市 3,400千円 鳥取県 3,000千円 参加料等 1,000千円 								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
(新) 小学校における音楽ワークショップ体験モデル事業	2,400	0	2,400				2,400													
トータルコスト	3,229千円（前年度 0千円）																			
従事する職員数	正職員：0.1人																			
主な業務内容	モデル校の選定・実施調整、ワークショップ実施業務委託契約締結、委託料の額の確定、委託料の支払い																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の概要</p> <p>芸術教育を通じ、児童が自ら考え・想像し・創作する力を育むことができるよう、小学校の通常の音楽の授業として、国内屈指のオーケストラ楽団員による音楽ワークショップを体験する機会を提供し、モデル事業の実施を通じ、教員が通常の授業において芸術教育を実践していくための一助とする。</p> <p>2 事業費 委託料 2,400千円</p> <p>3 事業の内容</p> <p>音楽ワークショップの企画及び運営実績のある関西フィルハーモニー管弦楽団に業務を委託し、鳥取県と鳥取県教育委員会の共催事業として実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>モデル校数</td> <td>東部・中部・西部の各地区の小学校1校ずつ</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>1校あたり1日に3回実施（学年単位又は低・中・高学年の2学年単位）</td> </tr> <tr> <td>1単位時間</td> <td>45分</td> </tr> <tr> <td>対象人数</td> <td>1回あたりの児童数は30名から60名まで</td> </tr> <tr> <td>講師数</td> <td>弦楽器奏者を中心に4名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>地区内の教員は、研修の一環としてモデル授業を参観。</td> </tr> </table>									モデル校数	東部・中部・西部の各地区の小学校1校ずつ	実施回数	1校あたり1日に3回実施（学年単位又は低・中・高学年の2学年単位）	1単位時間	45分	対象人数	1回あたりの児童数は30名から60名まで	講師数	弦楽器奏者を中心に4名	その他	地区内の教員は、研修の一環としてモデル授業を参観。
モデル校数	東部・中部・西部の各地区の小学校1校ずつ																			
実施回数	1校あたり1日に3回実施（学年単位又は低・中・高学年の2学年単位）																			
1単位時間	45分																			
対象人数	1回あたりの児童数は30名から60名まで																			
講師数	弦楽器奏者を中心に4名																			
その他	地区内の教員は、研修の一環としてモデル授業を参観。																			

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

1 項 土木管理費

景観まちづくり課 (内線: 7 3 8 7)

4 目 建築指導費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
(新) とつとりの鰻絵・なまこ壁の魅力を伝える事業	4,443	0	4,443				4,443													
トータルコスト	8,586千円 (前年度 0千円)																			
従事する職員数	正職員: 0. 5 3 人																			
主な業務内容	調査、企画調整、イベント実施、周知、補助事業																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業概要</p> <p>鳥取県内の鰻絵・なまこ壁等の地域資源を観光資源としても活かし、その魅力を県内外に伝え、地域の活性化に繋げると共に伝統技能の継承を図る。</p> <p>(1) 魅力ある鰻絵、なまこ壁素材の発掘 左官関係団体、専門家等で委員会を組織し、委員と共同で県内に埋もれている鰻絵、なまこ壁などの素材を発掘し、リストを作成する。</p> <p>(2) 魅力ある鰻絵・なまこ壁素材・技術を伝える 委員会の協力のもと、以下の事業を行う。 ①「鳥取の魅力ある鰻絵・なまこ壁を伝えるフォーラム」開催 鰻絵・なまこ壁に精通した著名人、専門家を招き、県内1ヶ所で開催 (内容案) 講演会、パネルディスカッション、写真パネル展示、左官技術実演公開 等 ②巡回展示会の開催 県内東部・中部・西部の各所、さらに近畿で写真パネル展示を行い、その魅力をPRする。 ③「鳥取の魅力ある鰻絵・なまこ壁」冊子の作成 広く魅力を県内外に伝えるため冊子を作成する。 (掲載案) 所在地マップ、写真・コメント、県内の特殊性や全国の傾向、左官技法の紹介 等 ④簡易パンフレットの作成 県外発信用に概要版として作成し、県内外の観光業者、イベント会場、観光案内所等で配布</p> <p>(3) 将来を担う子供たちへの伝承 小中学校等で、子供たちに鰻絵・なまこ壁等の左官技術を実演し、魅力を伝える活動を行うグループにその費用(材料費・印刷製本費等)の助成を行う。 補助対象事業費上限100千円×補助率1/2×3グループ</p> <p>○平成22年度以降に検討する事業等 ①「全国鰻絵・なまこ壁サミット in とつとり」の開催 ②地元市町村と連携し、ガイド育成の取組 ③山陰文化観光圏での連携、アジアとの交流の検討</p>																				
<p>2 事業費 4,443千円</p> <p>(内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>①委員会開催経費</td> <td>517千円</td> <td>④巡回展示会経費</td> <td>48千円</td> </tr> <tr> <td>②フォーラム開催経費</td> <td>1,250千円</td> <td>⑤パンフレット作成費</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>③紹介冊子作成費</td> <td>1,978千円</td> <td>⑥子供たちへの伝承補助金</td> <td>150千円</td> </tr> </table>									①委員会開催経費	517千円	④巡回展示会経費	48千円	②フォーラム開催経費	1,250千円	⑤パンフレット作成費	500千円	③紹介冊子作成費	1,978千円	⑥子供たちへの伝承補助金	150千円
①委員会開催経費	517千円	④巡回展示会経費	48千円																	
②フォーラム開催経費	1,250千円	⑤パンフレット作成費	500千円																	
③紹介冊子作成費	1,978千円	⑥子供たちへの伝承補助金	150千円																	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	備考
日本のまつり・2009鳥取開催事業	90,524	4,131	86,393				90,524	
トータルコスト	136,920千円（前年度17,833千円）							
従事する職員数	正職員：5.6人							
主な業務内容	実行委員会の運営、開催に関する事務（実施設計、運営計画等、出演者・動員者の調整、大会運営）、広報宣伝活動							

事業内容の説明

全国の地域伝統芸能を一堂に集める国内最大の伝統芸能の催事を開催し、地域伝統芸能を地域資源として次世代に継承し、これを活用することによる地域活性化の契機として発信する。

鳥取県開催のポイント

- ・次世代への文化継承を重視した全体構成（2会場で、出演者を青少年に限定した日を設定）
- ・海外の交流地域、関西・山陽・四国地域からの参加を優先（海外出演団体過去最多）
- ・県民の手による祭典の実施（企画・運営に県内伝統芸能団体が参画、県内140団体超の出演）
- ・鳥取県の多様な魅力を同時に発信（食のみやこ鳥取県フェスタとの連携開催）

1 事業の概要

(1) 名称

日本のまつり・2009鳥取

（第17回地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり、第9回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会とっとり）

(2) 主催及び運営主体

主 催：鳥取県、鳥取市、財団法人地域伝統芸能活用センター

運営主体：日本のまつり・2009鳥取実行委員会 ※主催者と関係団体で実行委員会を組織

(3) 開催期間

平成21年10月10日（土）～10月11日（日）※10月9日（金）前夜祭

2 平成21年度事業費

事業	内 容	事業費	県負担	備 考	
実行委員会事業	とりぎん文化会館 梨花ホール	○開催記念式典 ・高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式 ○メインステージ ・受賞団体のほか国内有数の伝統芸能の公演 ・アジア各地域による伝統芸能公演 ・因幡の傘踊り等県を代表する伝統芸能の公演	138,153	84,153	地域伝統芸能活用センター 34,000 鳥取市 20,000
	展示室等	○地域伝統工芸展、観光物産展			
	コ・コアウエスト スポーツパーク 県民体育館	○アリーナステージ ・とりぎん文化会館の公演団体に加え、アリーナステージならではの伝統芸能の公演 《「食のみやこ鳥取県フェスタ」と連携開催》			
	若桜街道	○前夜祭パレード ・麒麟獅子舞等県内芸能特別編成パレード ○おまつりパレード（御幸行列ほか） ○フィナーレパレード ・秋田竿燈と米子がいな万灯の共演 ・関西、中四国、アジア各地域による交流パレード			
鳥取駅前 風紋広場	○県民オンステージ ・公募による伝統芸能公演				
奉迎対策費		5,295	5,295	県 10/10	
県推進事務費		1,076	1,076	県 10/10	
合 計		144,524	90,524		

<参考：スケジュール>

H20年5月 地方実行委員会（企画委員会、分科会）の設置

21年2月 中央実行委員会の設置

基本計画の決定

5月 実施計画の決定

10月 日本のまつり・2009鳥取 開催

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課 (内線 : 7 2 3 9)

1 目 観光費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
心に残る映画ロケ 協働推進事業	2,841	3,053	△ 212				2,841	
トータルコスト	5, 3 2 7 千円 (前年度 4, 9 5 6 千円)							
従事する職員数	正職員 : 0. 3 人							
主な業務内容	補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の概要

映画やテレビドラマ等により本県の魅力を県内外へ情報発信するため、NPO 法人とっとりフィルムコミッションの活動に対して支援を行う。

2 平成 2 1 年度事業費

(単位 : 千円)

区 分	事 業 費	内 容
誘致活動への 支援	3 0 0	NPO 法人とっとりフィルムコミッションの ロケ誘致活動に係る経費を支援
ロケへの助成金	7 0 0	・映画・連続ドラマ 1 番組当たり 200 千円 ・短編ドラマ・番組 1 番組当たり 100 千円 ・テレビCM・雑誌 1 番組当たり 50 千円
(新) ロケーション ガイド作成	9 6 0	本県でのロケを誘致するため、県内のロケ候補地 の情報が網羅されたロケーション ガイドの作成 経費を助成 ・補助率 : 10/10 ・作成部数 : 1,000 部
標準事務費	8 8 1	
合 計	2, 8 4 1	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

高等学校課（内線：7929）

5目 教育振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化部活動充実支援事業	23,054	28,655	△5,601				23,054	
トータルコスト	30,111千円（前年度 29,936千円）							
従事する職員数	正職員：0.2人							
主な業務内容	合同練習実施、備品整備、申請書審査・補助金の支払い							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
文化部活動の活性化を図り、文化芸術活動に対する機運を高めるとともに、文化芸術活動の継承者を育成する。								
2 事業費 （単位：千円）								
区分	予算額	内容						
合同練習会等支援事業	2,557	県外大会等に複数校で参加する部門や、校外の施設を使用して練習する必要のある部門に対して、練習の機会を確保する。						
備品整備事業	地域活性化・生活対策特別交付金でH20年度に計上	大会等での発表や日常の練習に必要な用具が不足している学校に対し、用具等を整備する。 A 郷土芸能に係る備品整備 B 楽器整備 C その他の備品整備						
伝統芸能等海外公演支援事業	休止	海外の学校との交流や、活動の成果を海外の学校等で発表する学校に対して支援を行う。						
県高等学校文化連盟助成	20,497	県高等学校文化連盟に対する経費の一部を補助する。 A 全国高等学校総合文化祭派遣費補助 B 近畿高等学校総合文化祭派遣費補助 C 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助						
地域専門指導者招へい事業	県立学校裁量予算事業で実施	校内に指導者がいない文化部活動に対して、地域の指導者を外部から招へいして指導を受け、技術や意識の向上を図る。						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
鳥の演劇祭開催事業費	7,500	9,600	△2,100			2,500	5,000	
トータルコスト	13,300千円（前年度 14,624千円）							
従事する職員数	正職員：0.7人							
主な業務内容	市町村・関係機関との連絡調整、実行委員会事務、補助金事務							

事業内容の説明

平成20年9月に3週間にわたり開催された「鳥の演劇祭」について、平成21年度は海外団体を招致した国際演劇祭として拡大開催される予定。

県としても文化芸術の地域的な拠点づくり、また観光振興面でも新たな魅力創出となるこの取り組みに対し、引続き支援を行う。

1 事業の内容

【鳥の演劇祭開催概要（予定）】

主催	鳥の演劇祭実行委員会										
場所	鹿野・鳥の劇場（旧鹿野小学校・幼稚園）										
日時	平成21年9月中の3週間程度										
内容	<p><演劇公演></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外団体（ルーマニア・韓国） ・国内団体（招致2団体・鳥の劇場） <p><併催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来県アーティストによるワークショップ ・周辺の自然散策、紙すきなどの地域資源体験イベント 										
事業費	<p>30,000千円</p> <p><実施財源></p> <table border="0"> <tr> <td>文化庁・民間助成制度</td> <td>15,000千円</td> </tr> <tr> <td>鳥取県</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>鳥取市</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>鳥取因幡の祭典助成</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>入場料、協賛収入</td> <td>4,500</td> </tr> </table> <p>※県負担金のうち2,500千円は（財）地域創造助成</p>	文化庁・民間助成制度	15,000千円	鳥取県	7,500	鳥取市	1,000	鳥取因幡の祭典助成	2,000	入場料、協賛収入	4,500
文化庁・民間助成制度	15,000千円										
鳥取県	7,500										
鳥取市	1,000										
鳥取因幡の祭典助成	2,000										
入場料、協賛収入	4,500										

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7235）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第7回鳥取県総合芸術文化祭開催事業	50,306	54,954	△4,648			15,000	35,306	
トータルコスト	94,217千円（前年度97,049千円）							
従事する職員数	正職員：5.3人							
主な業務内容	総合芸術文化祭の実施に向けた、各委員会の開催及び連絡調整、広報、予算執行管理							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
県内の文化活動のすそ野を拡大するとともに、地域に根ざした創造性の高い文化芸術活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的として開催される「第7回鳥取県総合芸術文化祭」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。								
2 平成21年度事業								
(1) 期間 平成21年9月県展開幕日～11月末日（予定）								
(2) 場所 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市公会堂など県下全域								
(3) 実施主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会								
(4) 内容								
区分	事業費	内容						
【メイン事業】 「新・朝日座（仮称）」	27,154	◇県内各地の独自文化の特性を活かし、文化の継承・発展、新しい文化芸術の創造を県内外に向けて発信。 ・今年度のメイン事業は「新・朝日座」と題し、米子市公会堂、公会堂駐車場、商店街、朝日町などのまち全体で様々な催しを展開する。 ・「新・朝日座」の目玉として上演する新作歌舞伎「名和長年」の舞台制作を(財)県文化振興財団に委託。						
【アートマネージャー育成事業】 ①キラリ☆アートプロジェクト（旧県民企画アートチャレンジ事業） ②アートマネージメント研修会 ③各地区へのアートマネージャーの配置	7,440	◇鑑賞者に魅力的な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、県内の文化芸術活動を支える人材「アートマネージャー」の発掘と育成をめざす。 ①全県域から3事業の企画を公募。委託事業として、県民に鑑賞の機会を提供する。 ＜事業経費：1,800千円×3事業＞ ②アートマネージメント研修会を年6回開催。 ＜事業経費：1,140千円＞ ③地区独自の事業の企画・運営の中心を担うアートマネージャーを配置し、各地区企画運営委員会の活性化を図る。 ＜報償費：300千円×3人＞						
各地区企画運営委員会自主企画事業	5,210	◇各地区会場において、各種ワークショップ、ステージ発表、展示など県民が気軽に文化芸術を体験、鑑賞できる機会を提供し、文化芸術のすそ野を拡大を図る。また、会場外にも出向き、文化芸術普及活動を併せて行う ①公募により県民が実施する参加体験型事業 ＜経費：50千円×20事業×3地区＞ ②各地区企画運営委員会が自ら行う事業 ＜経費：170千円×3地区＞						
広報費、運営事務費（実行委員会、評価委員会及び事務局運営費）	10,502	・県民の参加・鑑賞を促すきめ細かな広報活動のための経費。（6,000千円） ・実行委員会、評価委員会及び事務局の運営に要する経費。（4,502千円）						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	備考
芸術鑑賞教室開催費	9,926	6,563	3,363				9,926	

トータルコスト 13,240千円（前年度8,602千円）

従事する職員数 正職員：0.4人

主な業務内容 派遣団体や学校との連絡調整、公演契約・支出事務

事業内容の説明

1 事業の概要

県内の高校、特別支援学校の生徒を対象に、学校体育館及び文化施設等において芸術の鑑賞する機会を提供する。

2 平成21年度事業費

対象校	高等学校・特別支援学校
演目等	財) 日本青少年文化センターが斡旋する演目を基本に、学校現場のニーズを聞いて開催を斡旋。 (京劇、狂言、民族楽器アンサンブル等)
予算額	9,926千円

※小中学校については市町村交付金で対応

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	備考
第53回鳥取県美術 展覧会開催事業	14,894	12,943	1,951			1,400	13,494	
トータルコスト	25,665千円（前年度 22,991千円）							
従事する職員数	正職員：1.3人 非常勤職員：1.3人							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							

事業内容の説明

広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することによって、創作活動の振興を図るとともに鑑賞の機会を提供し、美術、文化の振興に寄与するための鳥取県美術展覧会（第53回）を開催する。

事業区分	予算額	事業内容
運営委員会・ 審査会開催費	2,411	・鳥取県美術展覧会運営(出品規定等)について協議 ・出品作品の審査会開催
開会式・受賞者賞金	2,561	・開会式及び表彰式の開催
展示、巡回展にかか る経費	8,747	・作品搬入・郵送・陳列・搬出等に要する経費 ・県内4会場巡回展示に要する経費 ・目録・図録等の作成
事務費	1,175	

【参考】 第53回鳥取県美術展覧会の概要（予定）

主催	鳥取県、鳥取県教育委員会
会場	県立博物館、倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館、米子市美術館、 日南町美術館
会期	平成21年9月～11月（上記会場を巡回）
部門	8部門（洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン）
表彰	県展賞、奨励賞

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	備考
鳥取県ジュニア美術 展覧会開催事業	10,729	10,426	303				10,729	
トータルコスト	16,529千円（前年度 15,086千円）							
従事する職員数	正職員：0.7人 非常勤職員：0.8人							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							

事業内容の説明

1 事業の概要

児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高め、芸術文化の振興を図ることを目的とした第7回ジュニア美術展覧会を開催する。

事業区分	予算額	事業内容
運営委員会・ 審査会開催費	500	・鳥取県美術展覧会運営(出品規定等)について協議 ・出品作品の審査会開催
開会式、副賞	332	・開会式及び表彰式の開催
展示、巡回展にかか る経費	7,481	・作品搬入・郵送・陳列・搬出等に要する経費 ・県内3会場の巡回展示に要する経費 ・目録・図録等の作成
事務費	2,416	

【参考】 第7回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要（予定）

主 催	鳥取県、鳥取県教育委員会
会 場	県内3会場を巡回
会 期	平成21年11月下旬～平成22年1月中旬
部 門	3部門（「絵画・デザイン」、「書・書写」、「写真」）
表 彰	知事賞、教育長賞、奨励賞
展 示	審査の上、本展示では約1,400点の作品を展示予定

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課 (内線：7 1 3 3)

2 目 計画調査費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術活動支援補助金	15,158	19,973	△ 4,815				15,158	
トータルコスト	2 3, 4 4 3 千円 (前年度 2 7, 8 8 9 千円)							
従事する職員数	正職員：1. 0 人							
主な業務内容	補助金交付業務、選定委員会開催、国民文化祭及び「中四国文化の集い」への推薦業務							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県の文化芸術活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠をおく芸術・文化団体が自主的・自発的に行う芸術・文化活動に対し支援を行う。

2 補助事業の概要

(単位 千円)

区 分	事 業 内 容	(20 年度当初) 事業費
(1) 県内外で行われる優れた芸術・文化活動支援事業	補助対象者自らが企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 8 本程度)	(3, 0 0 0) 2, 4 0 0
(2) 知事特認事業	上記のうち、特に優れたものに対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 1,000 千円、事業数 2 本程度)	(2, 0 0 0) 2, 0 0 0
(3) 刊行物発刊事業	補助対象者が行う日本語による出版活動に対する支援 (補助率 1/2 以内、限度額 100 千円、事業数 10 本程度)	(6 0 0) 1, 0 0 0
(4) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	県内でステップアップを図ろうとする補助事業者が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 6 本程度)	(1, 0 0 0) 6 0 0
(5) 周年支援事業	定例的に行われる活動の周年事業に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 8 本程度)	(5 0 0) 8 0 0
(6) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	芸術・文化活動をツールとしたまちづくりを行う団体による作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 5 本程度)	(5 0 0) 5 0 0
(7) 次世代活動者育成支援事業	芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る文化団体が実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 8 本程度)	(1, 0 0 0) 8 0 0
(8) 国民文化祭等参加推進事業	国民文化祭(H21 静岡)及び中四国文化の集い(H21 岡山)に補助対象者が参加する経費を助成	(9, 8 8 2) 5, 5 6 7
(9) 選定委員会開催費	委員数 5 人 H21 年度は 3 回開催	(2 8 0) 2 8 0
小 計		(1 8, 7 6 2) 1 3, 9 4 7
標準事務費	事業説明会及びチラシ作成等に要する経費	(1, 2 1 1) 1, 2 1 1
合 計		(1 9, 9 7 3) 1 5, 1 5 8

※補助率は、波及効果が複数市町村に及ぶ活動の場合であり、波及効果が単独市町村に限定される活動の場合は、補助対象経費の 1 / 4 の額又は当該市町村からの助成額のいずれか低い額を当該補助金の限度額とする。

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課 (内線 : 7 1 3 3)

2 目 計画調査費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アートスタート 「次世代鑑賞者育成事業」	2,590	2,590	0				2,590	
トータルコスト	4, 2 4 7 千円 (前年度 4, 2 6 5 千円)							
従事する職員数	正職員 : 0. 2 人							
主な業務内容	事業募集、事業計画書の審査、選定委員会の開催、事業認定、申請書の審査、補助金の支払い、実績報告書の審査							

事業内容の説明

1 事業の概要

0歳から小学校入学前の乳幼児（以下「未就学児」という。）の豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会提供及び県内のアートスタートの取り組みを県内外に発信する団体に経費助成を行う。

2 事業費

事務費 9 0 千円 (補助対象事業の選定を行う委員謝金及び旅費)

補助金 2, 5 0 0 千円

<補助事業の概要>

(単位 : 千円)

事業区分	事業内容	補助対象経費	予算額
アートスタート活動支援事業	市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体への助成	公演に必要な経費 (公演料、宿泊料、旅費、運搬費等)、広報費、印刷費、会場使用料、消耗品費、通信費、会議費等 (補助率 : 定額、200 千円上限、事業数 10 公演程度)	2, 0 0 0
アートスタート発信事業	県内のアートスタートの取り組みを県内外に発信するフォーラムを開催する実行委員会に対し、開催経費の一部を定額助成	会場使用料、パネリスト謝金・旅費、印刷費、広報費、通信費、ケータリング等 (補助率 : 定額、500 千円上限、事業数 1)	5 0 0

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線：7235)

2目 計画調査費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化団体連合 会主催事業補助金	25,980	25,821	159				25,980	
トータルコスト	33,437千円 (前年度 30,160千円)							
従事する職員数	正職員：0.9人							
主な業務内容	補助金交付事務、鳥取県文化団体連合会への支援							

事業内容の説明

1 事業の概要

地域に根ざした創造性の高い意欲的な活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図るとともに、文化的な公共サービスの担い手である鳥取県文化団体連合会の自立と活性化を支援し、県民が文化に親しめる環境を整備する。(鳥取県文化団体連合会への助成)

2 事業内容

区 分	事業費	内 容
鳥取県文化団体連 合会主催事業補助 金	25,624	①加盟団体実施事業への補助(28事業) ・対象事業 鳥取県文化団体連合会加盟の県域文化 団体が開催する事業(舞台、文芸等の 発表、展示、研修事業、ワークショップ) ・事業主体 県域文化団体 ・補助金額 補助率2分の1かつ上限2,000千円 ・交付方法 外部審査員を加えた審査会で対象事業 を選定 ②県文連実施事業への支援 ○芸術たしなみ講座 舞台、展示、文芸、市町村の各分野別団体が協 働し、初心者のための芸術入門講座を開催するた めの経費 ○アートマネジメント研修会 会員及び県民を対象としたアートマネジメント 研修会を開催するための経費 ○機関誌発行 会員相互の情報交換・情報発信を活性化させる ための機関誌を年2回発行に要する経費 ③事務局運営費への支援 鳥取県文化団体連合会事務局の運営費
県事務費	356	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障害福祉課（内線：7867）

12目 障害者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																																													
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																														
障害者文化・芸術振興事業	2,015	2,029	△14				2,015																																														
トータルコスト	2,844千円（前年度3,323千円）																																																				
従事する職員数	正職員：0.1人																																																				
主な業務内容	補助対象事業者選定業務、補助金交付事務、作品展等開催業務																																																				
説 明																																																					
<p>1 事業の目的</p> <p>障害者の文化・芸術の普及啓発及び活性化を図る取組みにより、障害のある方が、自ら「絵を描いてみたい」、「楽器を演奏したい」など、文化・芸術活動をやってみたいという意欲を高めるとともに、めばえた意欲を受け止める活動の立ち上げを支援することにより、障害者の文化・芸術活動の振興と社会参加を図り、もってノーマライゼーションの実現を促進する。</p>																																																					
<p>2 事業の内容</p> <p>(1) 障害者文化・芸術活動支援事業</p> <p>県内の障害者等で構成する団体が継続的に実施する文化・芸術活動のうち、活動が優れたものについて、その活動の初期に係る経費の一部を支援する。</p>																																																					
<table border="1"> <tr> <td>補助団体</td> <td colspan="8">公募により選定された団体</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td colspan="8">活動経費</td> </tr> <tr> <td>補助基準</td> <td colspan="8">200千円 ※補助は団体立ち上げ後、最長2年間</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="8">定額（単県）</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="8">1,015千円（200千円×5団体、審査委員会開催経費15千円）</td> </tr> </table>									補助団体	公募により選定された団体								対象経費	活動経費								補助基準	200千円 ※補助は団体立ち上げ後、最長2年間								補助率	定額（単県）								予算額	1,015千円（200千円×5団体、審査委員会開催経費15千円）							
補助団体	公募により選定された団体																																																				
対象経費	活動経費																																																				
補助基準	200千円 ※補助は団体立ち上げ後、最長2年間																																																				
補助率	定額（単県）																																																				
予算額	1,015千円（200千円×5団体、審査委員会開催経費15千円）																																																				
<p>(2) 障害者文化・芸術作品展等開催事業</p> <p>障害者の文化・芸術に係る講演会、シンポジウム、作品展等を開催する。</p>																																																					
<table border="1"> <tr> <td>実施方法</td> <td colspan="8">委託</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="8">県（障害者文化・芸術作品等開催事業実行委員会へ委託）</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="8">講演会、シンポジウム及び作品展等の開催</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td colspan="8">講演会、シンポジウム及び作品展等の開催に係る経費</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="8">1,000千円</td> </tr> </table>									実施方法	委託								実施主体	県（障害者文化・芸術作品等開催事業実行委員会へ委託）								事業内容	講演会、シンポジウム及び作品展等の開催								対象経費	講演会、シンポジウム及び作品展等の開催に係る経費								予算額	1,000千円							
実施方法	委託																																																				
実施主体	県（障害者文化・芸術作品等開催事業実行委員会へ委託）																																																				
事業内容	講演会、シンポジウム及び作品展等の開催																																																				
対象経費	講演会、シンポジウム及び作品展等の開催に係る経費																																																				
予算額	1,000千円																																																				

平成21年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

4目 環境保全費

西部総合事務所県民局大山自然歴史館（電話：0859-52-2327）

〈地方機関計上予算〉

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (雑入)	一般財源	
大山自然歴史館事業	22,863	20,645	2,218			76	22,787	
トータルコスト	39,433千円（前年度36,395千円）							
従事する職員数	正職員：2.00人、非常勤職員：2.00人							
主な業務内容	大山自然歴史館が実施する野外、館内サービス事業ほか							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 大山の自然や歴史・文化を広く紹介し、大山の拠点として、県立博物館等と連携をとりながら地元振興を図る。</p> <p>2 事業内容及び事業費</p> <p>(1) 野外事業 1,166千円 大山の自然のすばらしさや歴史・文化を学ぶ講座等を開催する。 ・自然観察会、福祉観察会、自然講座</p> <p>(2) 館内サービス事業 3,182千円 地元で活躍する作家等の作品紹介や大山をテーマにした作品等の展示等を開催する。 ・展示会、ワークショップ（草木染め等）の実施、夏休み自由研究教室（昆虫図鑑等）の開催等</p> <p>(3) (新) 大山道（ダイセンオールドウェイ）再発見事業 2,182千円 県民の宝である古道「大山道（だいせんみち）」を県民に広く紹介し、その価値の再発見を図るため、座学と現地散策等を通じて大山道の理解を深める。 ・大山道についての講座の開催、大山道観察会の実施、専用マップの作成等</p> <p>(4) 芸術・文化事業 164千円 大山に関する文学作品や作家等に関する講座等を開催する。 ・大山民話の夕べや大山文学散歩の開催、大山写真教室の充実</p> <p>(5) 大山自然歴史館の管理運営事業 16,169千円 大山自然歴史館の管理運営経費</p>								